三和の住宅用窓シャッター（通風・採光型）

マドモア スリット Sシリーズ

取扱説明書

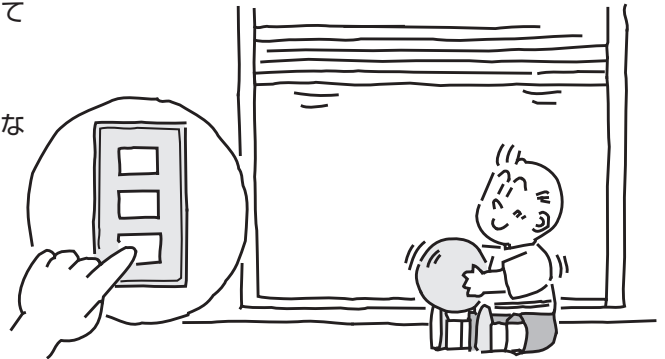
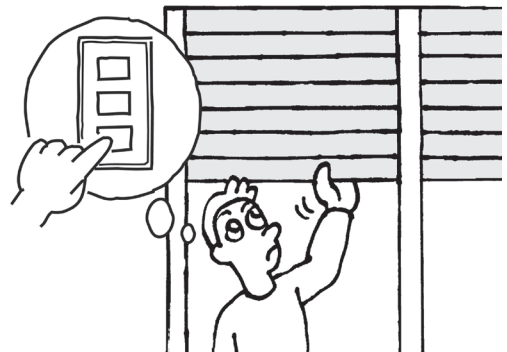
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるように大切に保管してください。
※建設会社・販売店・お施主様へ
　この取扱説明書を実際に使用される方へ必ずお渡しください。

三和シヤッター工業株式会社

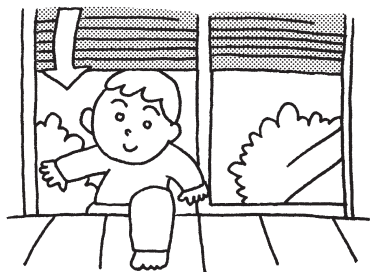
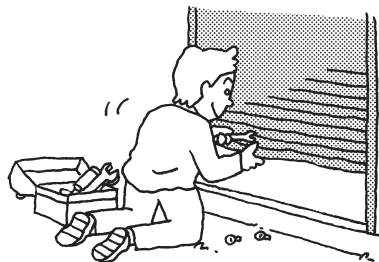
ご使用上の注意

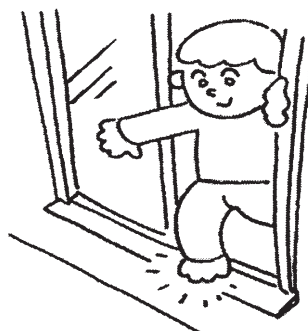
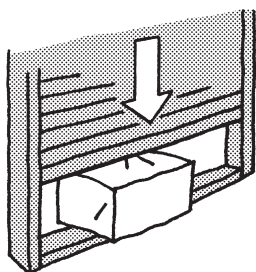
⚠ 警告

次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う危険性があります。

・操作スイッチは人がいないことを確認してから操作してください。
・シャッターの動作が終了するまで確認してください。
自動運転のため、お子様などがはさまれますと、重大な事故となるおそれがあります。

操作スイッチを押しても、シャッターが動かない場合、シャッターに触れたり、シャッターの下にいないでください。シャッターが突然降下し、はさまれて重大な事故となるおそれがあります。
（→異常時の処置 11 ページをお読みください。）

●停電時操作の場合
停電時の操作に当たっては、高い場所で、手動にてシャッターを操作していただくことになります。
窓からの転落などの危険が伴いますので、安定した足場を確保し、注意して行ってください。

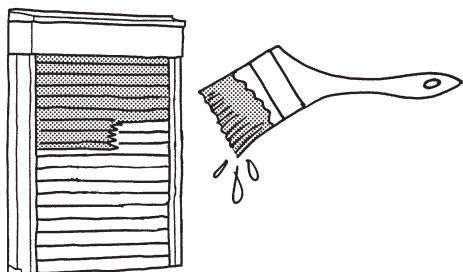
ご使用上の注意

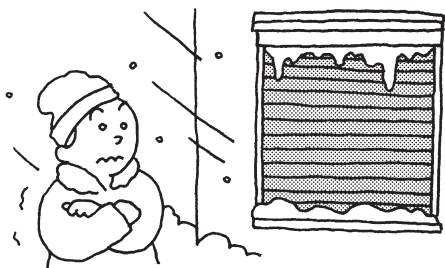
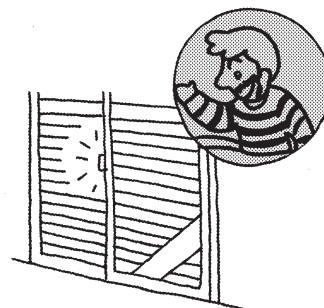
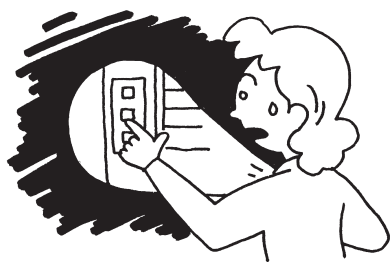
次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。

シャッターの開閉中は下を通らないでください。シャッターにはさまれケガをするおそれがあります。

改造、修理、分解は行わないでください。
故障の原因または仕様通りの性能が出なくなります。

シャッターケースやスラットにはしごをたてかけたり、物をぶつけないでください。変形したり、シャッターが動かなくなるおそれがあります。

水切板を踏み付けないでください。滑って転倒したり、水切板が変形するおそれがあります。

シャッターの開閉に支障となるようなもの（植木・箱など）を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。

シャッターケースの内部に水を吹きかけないでください。感電や火災、故障の原因となります。

ご使用上の注意

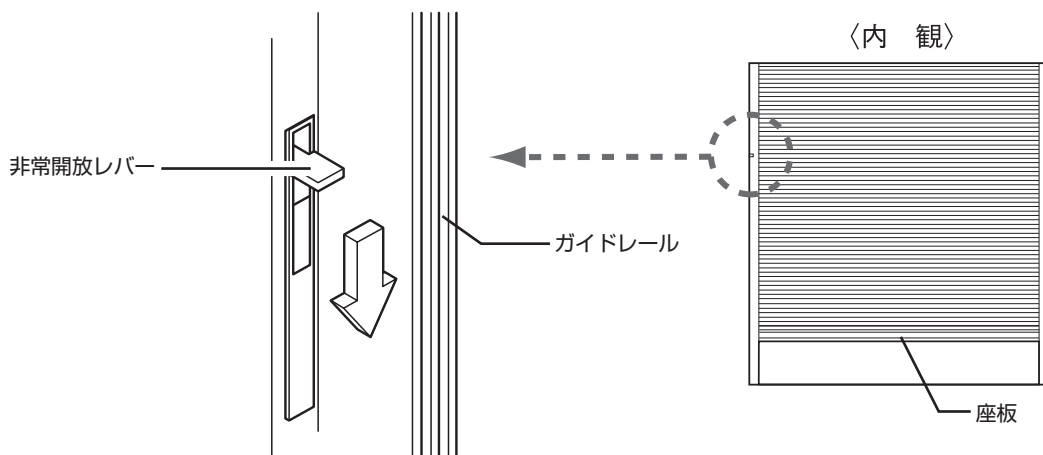
⚠注意　次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。

スラットに、塗装を行わないでください。
故障の原因または仕様通りの性能が出なくなります。

お願い

冬期、シャッターが凍結した場合は、溶けるまで待ってから開閉してください。無理に操作を行うと、破損するおそれがあります。

外出時または雨、強風、就寝時はシャッターを完全に閉め、室内のサッシも施錠してください。空き巣などに侵入されるおそれやシャッターが破損するおそれがあります。

停電時はスイッチによる操作ができません。
電源が復旧するまでお待ちいただくか、停電時の手動操作（9ページ参照）に従って操作してください。

窓シャッターについて

- シャッターが全閉状態でも、強い降雨時にはスラット表面から内側に水が伝わり、スラットの内側が濡れることがあります。
  品質に問題はありませんので安心してご使用ください。
- スラットの表面に、雨などの水分が付着した状態でシャッターを開閉すると、水滴が落ちてくる場合があります。
  これはシャッターが巻き取られる際に、スラット表面の水滴が内側に付着するためです。品質に問題はありませんので安心してご使用ください。
- シャッターが全閉状態でも、強風によりスラットがばたつき、音がすることがありますが、異常ではありません。
- シャッターが全閉状態でも、構造上外から光が入ることがありますが、異常ではありません。

4–4　停電時の手動操作

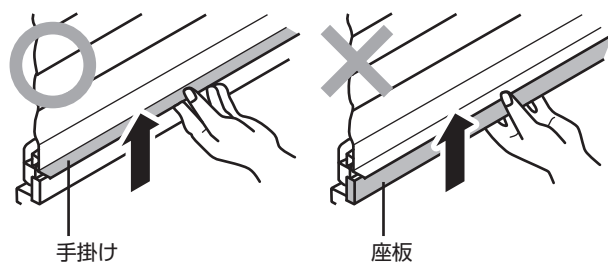
停電時の操作に当たっては、高い場所で、手動にてシャッターを操作していただくことになります。窓からの転落などの危険が伴いますので、安定した足場を確保し、注意して行なってください。

① 内観左のガイドレールにある非常開放レバーを押し下げます。
※ 通電時に上記操作を行いますと、開閉機よりブザーが鳴ります。ブザー音は 60 秒後に止まります。

② 座板を持ってシャッターを引き上げます。

※補助ロック付の場合
4–2 の解錠操作を先に行なってください。

手動操作について

シャッターを手動操作する場合は座板の屋内側の手掛けに指を掛けて持ち上げてください。座板の下からすくい上げたり、屋外側から持ち上げると、ガイドレール内のテープスイッチが破損するおそれがあります。

● 手動操作から電動操作にもどすときは、再度非常開放レバーを押し下げてください。

4–5　停電復旧後の操作方法について

お願い

停電復旧後、または非常開放レバーを手動から電動にもどした後は、［▼］閉ボタンを押してもシャッターは下降しません。（ブザー音が鳴ります。）
下記の手順で、一度全開から全閉まで動かしてください。

① 開ボタンを押して一度全開させてください。
※シャッターが全開の場合でも開ボタンを押してください。

② ① の操作後、閉ボタンを押して全閉させてください。
※停電復旧後や手動操作後、全開及び全閉停止位置の再確認を行なうための操作です。